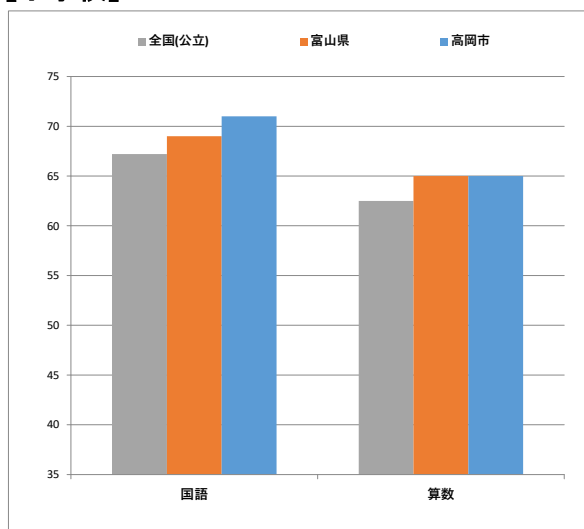


## 「令和5年度全国学力・学習状況調査」における高岡市の結果について

○学力調査について（平均正答率） 【単位％】

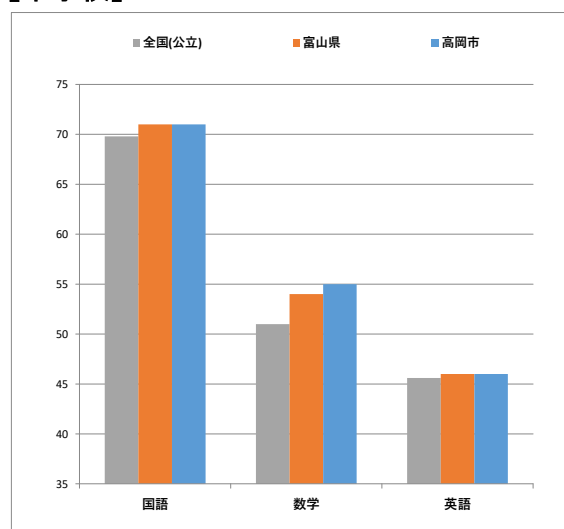
	小学校 (参加校全24校、参加児童数1,177名)		中学校 (参加校全12校、参加生徒数1,173名)		
	国語	算数	国語	数学	英語
高岡市	71	65	71	55	46
富山県	69	65	71	54	46
全国	67.2	62.5	69.8	51.0	45.6

## 【小学校】



- 平均正答率は、全国平均を国語は3.8ポイント、算数は2.5ポイント上回っている。
- また、県平均を国語は2ポイント上回っており、算数は県平均と同じである。

## 【中学校】



- 平均正答率は、全国平均を国語は1.2ポイント、数学は4.0ポイント、英語は0.4ポイント上回っている。
- また、国語、英語は県平均と同じ、数学は1ポイント上回っている。

## 〈成果と課題〉

小学校では、国語科、算数科ともに、基礎的・基本的な知識及び技能が身に付いている。国語科では、文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分け、仮名遣いに注意して書く力が身に付いている。また、文章を読んで理解したことに基づいたり話し手の考えと比較したりして、自分の考えをまとめる力も身に付いている。算数科では、日常生活の場面と関連付けて式の意味を読み取ったり、計算に関して成り立つ性質についての理解を深め、正しく計算したりする力が身に付いている。

中学校国語科では、観点を明確にして複数の文章を比較し、表現の効果を考えるなど読む力が身に付いている。数学科では、複数のデータの分布の傾向を比較して捉え、数学的な表現を用いて説明する力が身に付いている。英語科では、日常的な話題について、文と文との関係を正確に読み取る力が身に付いている。

今後は、基礎的・基本的な知識及び技能をより確実に定着させるとともに、自分の考えを相手に的確に伝えるための表現力をさらに高められるよう、ICT 機器を効果的に活用し、自分に必要な情報を正確に見付けたり聞き取ったりする活動や根拠を明確にした書く活動を重視するなどの授業改善に努めていく必要がある。

各学校においては、児童生徒の学力や学習状況の実態から自校の課題を分析し、身に付けさせたい力を明確にしながら、家庭と連携して学力向上に向けた取組を推進していきたい。また、校区の小学校と中学校で分析結果を共有し、小中9年間の連続性・系統性を意識した指導の充実を図っていきたい。